

資料7

日中サービス支援型共同生活援助制度の創設に伴う自立支援協議会への報告制度について

経緯

平成30年度の報酬改定に伴い、日中サービス支援型共同生活援助が創設され、自立支援協議会から評価を受けるとともに、当該協議会から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないことになった。

参考

＜厚生労働省社会・援護局障害福祉部障害福祉課 地域支援推進室 地域移行支援係
平成30年2月26日付事務連絡 自立生活援助及び日中サービス支援型共同生活援助についてより抜粋＞

○日中サービス支援型共同生活援助の趣旨について

日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）は、障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助の新たな類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。

○対象者について

日中サービス支援型グループホームの主な対象者は、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することができない障害者（日によって利用することができない障害者を含む）であるが、共同生活援助の一類型であることから、障害支援区分による制限は設けない。

○地方公共団体が設置する協議会等への報告・評価について

日中サービス支援型グループホームは、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、地方公共団体が設置する協議会等（※）に対し、定期的に（年1回以上）事業の実施状況等を報告し、協議会等から評価を受けるとともに、当該協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

※本市においては、地域自立支援協議会に対し、報告及び評価を行うこととしている。

〔日中サービス支援型グループホーム一覧〕

事業所名称	郵便番号	事務所在地	事業者名称	代表者
1 freeval川戸	260-0802	千葉市中央区川戸町510-1	(株)コタン	代表取締役 安藤 知行
2 MG Style若葉下田	265-0076	千葉市若葉区下田町1096番地		
3 MG Style稲毛園生	263-0051	千葉市稲毛区園生町519-11	(株)恵	代表取締役 中出 了輔
4 グループホームふわふわ花見川	262-0044	千葉市花見川区長作町899		
5 エッセンス都賀	264-0021	千葉市若葉区若松町489-1	一般社団法人モアソシヤルパートナー	代表理事 浅川 貴雄
6 グループホームはらから	264-0016	千葉市若葉区大宮町3421-1	NPO法人はらから	代表理事 細屋 久美子
7 グループホームビートルケア柏井	262-0048	千葉市花見川区柏井4丁目30-5		
8 グループホーム ビートルケア鎌取	266-0002	千葉市緑区平山町2019-1	AHCグループ(株)	代表取締役 荒木 喜貴
9 ソシヤルインクルーホーム千葉園生町	263-0051	千葉市稲毛区園生町1279-1		
10 ソシヤルインクルーホーム千葉大森町	260-0811	千葉市中央区大森町252-1	ソシヤルインクルー株式会社	代表取締役 松下 展千
11 ソシヤルインクルーホーム千葉あすみが丘東	267-0067	千葉市緑区あすみが丘東1丁目13-10		
12 みなもとホーム	264-0037	千葉市若葉区源町561-8	(社)千葉市手をつなぐ育成会	理事長 栗原 一雄
13 クラリスハイム千葉高根町事業所	265-0061	千葉市若葉区高根町350-1	ミナソフ株式会社	代表取締役 大村 英壽

R5.5月以降の開所である下記事業所については、年度実績がないため対象外とする。

事業所名称	郵便番号	事務所在地	事業者名称	代表者	指年月日
ドットホーム 千葉(ナーシングホーム)	263-0051	千葉市稲毛区園生町1281-1	株式会社ドットライン	代表取締役 垣本 祐作	R05.08.01
ピーハック日中支援型障がい者グループホーム千葉	260-0813	千葉市中央区生実町989-1	株式会社プロパティーマネージメント	代表取締役 長屋 光輝	R05.10.01

報告・評価シート

【報告日2024年7月8日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業所名	freeval川戸		日中						
	指定日	2021年12月1日		世話人	生活支援員					
	所在地	千葉市中央区川戸町510-1		1日4人	1日3人					
	定員数 (共同生活援助)	10人		(常勤換算後)	(常勤換算後)					
	定員数 (短期入所)	2人		4人	3人					
	共同生活住居数	1戸		看護師の配置	団有 (計6人) □無					
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		夜間						
	住居名: freeval川戸	12名		世話人 (夜間)	世話人 (夜間)					
	住居名:	名		2人	2人					
	住居名:	名		(常勤換算後)	(常勤換算後)					
2 利用者状況 (令和6年6月1日現在)	住居名:	名		2人	2人					
	住居名:	名		看護師の配置	□有 (人) □無					
	障害支援区分	人数		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)						
	非該当	人		総数:	3人					
	区分1	人		主に日中GHで過ごす人数:	0人					
	区分2	人		総数:	2人					
	区分3	5人		主に日中GHで過ごす人数:	1人					
	区分4	5人		総数:	10人					
	区分5	人		主に日中GHで過ごす人数:	3人					
	区分6	人		総数:	0人					
	合計	10人		主に日中GHで過ごす人数:	0人					
	年齢	人数		障害特性		人数				
	~20代	2人		医療的ケアが必要な者		0人				
	30代	人		強度行動障害がある者		2人				
	40代	人								
50代	5人									
60代~	3人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのようなサービスを提供しているか。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	・通院同行 ・日中生活支援 ・買い物同行支援 ・行政等手続き支援 ・1日3食食事提供 ・ラジオ体操等地域交流 ・不定期開催イベント（月1回程度） 日中は入居者それぞれ、就労継続支援B型事業所へ通所したり、自室や共有スペースでゆっくり過ごしている。 入居者10人中9人 ・TODAY都町 1人 ・からは〜い 1人 ・リべるたす 1人 ・e-Team千葉みなと 1人 ・リバノス蘇我 1人（現在は入院中） ・WAKU WORK 4人	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	・週数回、希望者と社用車で買い物に出かける。 ・毎週日曜日地域のラジオ体操参加。 ・花見など季節に応じた外出イベント開催。（月1～2回） ・不定期で他事業所、入居者家族、地域住民、関係機関職員を招いたGH主催のイベントを開催している。 ・当GH代表取締役が町内会へ入会し、町内活動や班長（ローテーション）を務めている。 月1人程度。 ・長期入院者の地域移行のための体験利用。 ・他GH入居までの繋ぎとしての体験利用。 ・土日祝日関わらず同程度の人員を配置している。 ・地域の方々を招いたイベント開催等には職員の参加希望を聞き、平常時より多い人員を配置している。 本年度中に初回の会議を開催予定。 日頃から地元住民、利用者家族、関係機関と連絡を取り合っているため、容易に開催出来ると思われる。 時期未定。参加者は弊事業所代表、自治会長もしくはその他地元住民、いずれかの利用者家族、いずれかの利用者かかりつけ医。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	心理研究所等外部講師を招いての勉強会 12名 強度行動障害支援者養成研修基礎・実践 1名 当事者研究研修 4名 能登半島地震福祉ボランティア派遣 3名 等 （受け入れ人数など） 実習生2人、ボランティア4人 その他（他事業所の実習生1日ボランティア）2人 防災設備の定期点検の実施。災害緊急時対応マニュアルの作成。 防災グッズ、備品の拡充。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	月2名程度。常時受け付けている。	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	常時受け付けている。 夫婦間のレスパイト目的、対人トラブルの避難、入居先が決まるまでの緊急等。 入居者さまに関わっている相談支援専門員、通所先の管理者、医療機関のソーシャルワーカー等、状況や状態に応じて速やかに連絡調整を行っている。カンファレンスの参加、必要に応じ企画を呼びかけ、地域生活支援に取り組んでいる。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・スロープや車いす対応の居室、トイレを設置。 ・調理スタッフによる利用者リクエスト料理の提供。 ・ピアスタッフ3名が職員として、入居者の支援を行っている。 ・利用者也交えた事業所主催のイベントや勉強会の開催。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか	基幹相談支援センターと連携し、短期入所等受け入れ体制を整えている。	

報告・評価シート

【報告日 6 年 6 月 28 日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業所名	MGStyle若葉下田								日中		
	指定日	令和 4 年 3 月 1 日								世話人	生活支援員	
	所在地	千葉市若葉区下田町1096								8人	5人	
	定員数 (共同生活援助)	15人								(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	定員数 (短期入所)	1人								4.7人	3.6人	
	共同生活住居数	2個								看護師の配置	□有 (人) ■無	
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】								夜間		
	住居名: MGStyle若葉下田A棟	10名								世話人 (夜間)	世話人 (夜間)	
	住居名: MGStyle若葉下田A棟 短期	1名								1人	1人	
	住居名: MGStyle若葉下田B棟	5名								(常勤換算後)	(常勤換算後)	
2 利用者状況 (令和 6 年 6 月 28 日 現在)	住居名:	名								人	人	
	住居名:	名								看護師の配置	□有 (人) ■無	
	障害支援区分	人数								主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)		
	非該当	人								身体	総数: 7人	
	区分 1	人								主に日中GHで過ごす人数: 1人		
	区分 2	人								知的	総数: 5人	
	区分 3	人								主に日中GHで過ごす人数: 1人		
	区分 4	5人								精神	総数: 人	
	区分 5	2人								主に日中GHで過ごす人数: 人		
	区分 6	5人								難病等	総数: 人	
合計	12人								主に日中GHで過ごす人数: 人			
年齢	年齢	人数								障害特性		人数
	~20代	3人								医療的ケアが必要な者		1人
	30代	1人								強度行動障害がある者		人
	40代	3人										
	50代	4人										
60代~	1人											

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	平日の日中は生活介護へ通所される方が多いです。残っている方や、通所のない休日は敷地内を散歩される方もいますが、半分の程度の方は居室で過ごされています。 外へ散歩に出かけたり、ホーム内でできる運動を行っています。洗濯や身の回りの整頓などご自分で出来る事をできるだけご自身で行って頂きサポートしながら一緒にを行っています。	
4 地域に開かれた運営について	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。 ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	利用人数12名中9名。 ・生活介護 - リル若葉下田（9名）ディアフレンズ大宮（2名） - 若葉泉の里（2名） ・買い物同行 ・散歩 ・随時ご連絡 ・体調不良時のご連絡 ・他事業所からの転居に伴う体験利用（2名） ・土日は平日よりも多い職員の配置し支援を実施 ・現状、準備段階 ・本部と調整中 ・現在、準備段階 ・本部と調整中	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・令和5年度強度行動障害研修受講済み ・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会（年8回） ・感染対策委員会（年4回） ・現在予定はありません ・年2回訓練実施 ・BCP、緊急対策マニュアル作成提示	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。 ・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	・定期的に短期利用は、あります ・R6.4～毎月3人程度ご利用 ・現在、緊急の対応はありません 依頼があれば状況を確認し対応します	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。 ・事業所独自の取り組みの有無	・各相談支援事業所や他のサービス事業所様と随時情報共有を行っています ・利用者様、それぞれに合った支援の取り組みに努めています ・入浴が嫌いなご利用者様へタイムスケジュールなどを作っている。	
10 その他			
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 6年 6月 24日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業所名	MG Style稲毛園生町								日中	
	指定日	令和 4 年 6 月 1 日								世話人	生活支援員
	所在地	千葉市稲毛区園生町519-11								3人	9人
	定員数 (共同生活援助)	10人								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (短期入所)	1人								2.9人	3.8人
	共同生活住居数	1								看護師の配置	口有 (人) ☒ 無
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】						夜間		
	MG Style稲毛園生町A棟		10名						世話人 (夜間)	世話人 (夜間)	
	MG Style稲毛園生町A棟 短期		1名						1人	5人	
	住居名:		名						(常勤換算後)	(常勤換算後)	
2 利用者状況 (令和6年6月24日現在)	住居名:		名						0.1人	1.2人	
	住居名:		名						看護師の配置	口有 (人) ☒ 無	
	障害支援区分		人数						主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)		
	非該当	0人						身体	総数:	3人	
	区分 1	0人						主に日中GHで過ごす人数:		0人	
	区分 2	0人						知的	総数:	7人	
	区分 3	0人						主に日中GHで過ごす人数:		0人	
	区分 4	1人						精神	総数:	0人	
	区分 5	2人						主に日中GHで過ごす人数:		0人	
	区分 6	6人						難病等	総数:	0人	
	合計	9人						主に日中GHで過ごす人数:		0人	
	年齢	人数						障害特性		人数	
	～20代	2人						医療的ケアが必要な者		0人	
	30代	2人						強度行動障害がある者		4人	
	40代	3人									
50代	1人										
60代～	1人										

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	平日の日中は、皆さん、通所事業所を利用されています。土日においては、共有スペースに集まってもらって、ボール遊びや掃除機、モップ掛けなどの掃除、洗濯ものを一緒にたたんだり片付けたり、掲示物を作るなどの軽作業をしています。手伝ってくださる方もいれば、見ているだけの方もおりますがオープンに出来ることは利用者様と一緒にやっています。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	9名中9名。デイサービス（北部診療所、週4回）1名。就労継続支援B型（TODAY弁天、週3回）1名。生活介護（でい・まさが1名）（畑町ガーデン1名）（星の会すばる 週2回 1名）（リル若葉下田 週5回 4名 週3回 1名）。休日には休養されたり、掃除や洗濯を手伝って下さったり散歩や買い物、それぞれの形で過ごされています。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	休日などにホームの裏が「園生の森公園」なので時間の許す限り散歩へ行ったり、スーパードなどに行く用事のあるときには同行していただくこともあります。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	ご家族とは常に連絡を取り合い、報告やご相談させていただくことが多々あります。またひと月に1度ですが定期的に写真付きのお便りも送っています。地域の方々とは区分が高い利用者様が多いこともあって、どう交流させていただけるか模索しております。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	5月までは継続で体験利用いただいていた方がいらしたのでお受け出来ていませんでしたが、ご入居いただくことができたため今後体験利用の受け入れを進めていけるようアナウンスしていきます。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	平日土日共通 1ユニット 2～3名 夜間従事者1～2名での体制	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	現在、準備段階で委員のご選定からご依頼先を纏めております。その後、順を追って施設見学から実際に会議開催を年内に行いたいと思っています。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	現在、準備段階で委員のご選定からご依頼先を纏めております。その後、順を追って施設見学から実際に会議開催を年内に行いたいと思っています。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	令和5年度強度行動障害のある方の支援者に対する研修。令和5年度障害者虐待防止・権利擁護研修。第15回千葉県障害者グループホーム大会の講演。法人、各事業所においても毎月の虐待防止、感染症対策、権利擁護に関する研修を行っています。 現在、予定できておりません。 今後、受け入れ先を開拓していきたいと考えております。 年2回の訓練や、BCP・緊急対策マニュアルを作成し掲示してあります。またそれを毎月のケア会議にて確認しています。非常用の水や食料も確保しています。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。 ・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	現在、体験での利用はありますが、短期利用はございません。 今後も積極的に受け入れできるようアナウンスしていきます。 現在、緊急の対応はございませんが、依頼をいただければ迅速に状況を確認し対応いたします。	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	各相談支援事業所や他のサービス事業所様とは些細なことでも報告や相談をさせていただき、ご協力をいただいております。今後、も密に連絡やご相談をさせていただきたく思っております。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	障害のある方でも家庭的な雰囲気の中自分らしく当たり前の生活を当たり前にできることを念頭に支援しています。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

【事業所記入欄】												
1 施設概要	事業所名	グループホームふわふわ花見川			人員配置				日中			
	指定期	令和5年1月1日							世話人		生活支援員	
	所在地	千葉市花見川区長作町899							(常勤換算後)		(常勤換算後)	
	定員数 (共同生活援助)	15人							3.7		3.3	
	定員数 (短期入所)	2人							看護師の配置		□有 (人) ■無	
	共同生活住居数	13戸			夜間							
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】										
	住居名：グループホームふわふわ花見川A棟	10名					世話人 (夜間)		生活支援員 (夜間)			
	住居名：グループホームふわふわ花見川B棟	5名					3人		7人			
	住居名：グループホームふわふわ花見川短期	1名					(常勤換算後)		(常勤換算後)			
住居名：	名			0.13人		2.1人						
住居名：	名			看護師の配置		□有 (人) □無						
2 利用者状況 (令和6年7月15日現在)	障害支援区分	人数			主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)							
	非該当	人			身体	総 数：	1人					
	区分 1	人				主に日中GHで過ごす人数：	1人					
	区分 2	人			知的	総 数：	11人					
	区分 3	1人				主に日中GHで過ごす人数：	5人					
	区分 4	3人			精神	総 数：	1人					
	区分 5	5人				主に日中GHで過ごす人数：	0人					
	区分 6	4人			難病等	総 数：	人					
	合計	13人				主に日中GHで過ごす人数：	人					
	年齢	人数			障害特性		人数					
～20代	3人			医療的ケアが必要な者		1人						
30代	4人			強度行動障害がある者		1人						
40代	0人											
50代	6人											
60代～	0人											

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	2ページ 評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) 平日の日中は通所事業所を利用される方が多いです。ホームに残っている方や土日においては、だいたい半分程度の方が共有スペースで過ごしています。 ・GH内で主どのような日中サービスを提供しているか。 ・買い物支援やお散歩支援、季節のイベント開催、おやつ作り月一回余暇活動として食事作りを開催しています。 お誕生日会、受診同行、訪問看護、訪問診療、訪問歯科、訪問理容、リハビリなどを入れています。 又個別支援計画にもとづいて支援として洗濯物を一緒にたたんでもらするなど、出来る事はやってみようようにしています。	
4 地域に開かれた運営について	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数 (13人中11人) ※日によって利用者数が異なります。 (主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方) 重度訪問介護 レーベン勝田台 B型就労 ものこ、栗の木 プロッサム 生活介護 ゆうゆうライフ リル四街道 お買い物支援や散歩支援又余暇活動として月一回食事作理を開催しています。 又公共交通機関を使用し千葉動物公園に行きました。 ご家族や相談員さんとは密に連絡を取り合っている。 又訪問の際情報共有しています。 入居促進しており体験入居から行っています。 又入居でなくても体験を進めています。 日勤者1ユニット 2～3名 (2ユニット) 3名～4名 夜勤従業者1ユニット1名 (2ユニット) 2名～3名 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況 (又はその予定) は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況 (又はその予定) は。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	毎月1回ケア会議など開催しています。 毎月虐待防止委員会（本部WEB）にて議題を各事業所に提供し、研修題材を職員に行っていたいております。 来られていませが今後できるならば来て頂けるように取り組みたい。 消火器の設置や非常食、水の備蓄を行っています。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	月に1～2名定期的に受け入れている。 ご家族からの虐待、ネグレクトなど緊急受け入れ等を実施します。	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	随時、相談支援員様からの緊急連絡に対応できるよう準備を行っている。 常に相談員さん、生活介護事業所など連携をとり情報共有できている。グループホームでの活動について共有させて頂いています。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	障害区分では、知的障害の方が多い為研修をし支援の方法などを話し合っている。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2024年 6月 25日】
【評価日 2024年 月 日】

【事業所記入欄】											
項目	事業所名	エッセンス都賀	日中								
1 施設概要	指定日	令和 4年 3月 1日	世話人	生活支援員							
	所在地	千葉県 若葉区 若松町 489-1	4人	5人							
	定員数 (共同生活援助)	19人	(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	定員数 (短期入所)	1人	4.6人	5.0人							
	共同生活住居数	2戸	看護師の配置	■有 (1人) □無							
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】	夜間								
	住居名：エッセンス都賀ユニットA (1階)	10名	世話人 (夜間)	世話人 (夜間)							
	住居名：エッセンス都賀ユニットB (2階)	9名	1.5人	1.5人							
	住居名：エッセンス都賀短期入所 (2階)	1名	(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	住居名：		1.5人	1.5人							
住居名：			看護師の配置	□有 (人) ■無							
2 利用者状況 (令和6年6月25日 現在)	障害支援区分	人数	主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)								
	非該当	0人	身体	総 数：	5人						
	区分 1	0人		主に日中GHで過ごす人数：			3人				
	区分 2	2人	知的	総 数：	6人						
	区分 3	3人		主に日中GHで過ごす人数：			5人				
	区分 4	7人	精神	総 数：	10人						
	区分 5	2人		主に日中GHで過ごす人数：			9人				
	区分 6	3人	難病等	総 数：	1人						
	合計	17人		主に日中GHで過ごす人数：			1人				
	年齢	人数	障害特性							人数	
	～20代	4人	医療的ケアが必要な者							4人	
	30代	1人	強度行動障害がある者							3人	
	40代	1人									
	50代	7人									
	60代～	4人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にとどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者の状況、サービスの内容） 平日の日中は通所事業所を利用される方が多いです。ホームに残っている方や土日においては、だいたい半分程度の方が共有スペースで過ごしています。家庭菜園の収穫等の際にはほとんどの方が参加されています。 ・散歩（雨天除き午前1回と午後1回、4～8名参加） ・家庭菜園（土作りから始め種まき。随時水やり。8名程度参加） ・お茶会（1階：午前1回と午後1回4名程度参加。2階：就寝前4回/月8名参加） ・月3回食レク（おやつ作り1回 誕生日ケーキ作り 汁物作り1回） ・通院同行 ・入浴介助 ・トイレレ介助 ・更衣介助 ・金銭管理 ・服薬管理 ・食事提供 ・夜間巡視 ・身体状況観察（含：バイタル測定） ・買い物動向と代行	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（COAやOOA等）、主な日中活動サービスの種類、利用頻、休日の日中の過ごし方） ・生活介護 1名 若葉泉の里 ・就労B 4名 サブカルビジネスセンター/イオン厚生/DOT WORK ・就労A 3名 レバノズ都賀 休日は、レクや家庭菜園の収穫等の際はほとんどの方が参加していますが、それ以外の時間帯は半分程度の方は居室で過ごされています。	
4 地域に関わった運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（対象とした地域と支援を遂行するために実施している、外出や余暇活動など） ・毎日の午前・午後の散歩を実施（1回平均25分程度×2回） ・雨天時を除く家庭菜園。5回/週程度実施（土作り/種まき/水やり/成長観察） ・年一回の地元自治会の夏祭りに参加。今後は出店できるか打診している。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（関係者） ・若葉消防署協力のもと、近隣住民にも声を掛けて、消防訓練を行った経験から、今後は近隣住民に声掛けして、当ホーム主導で、消防訓練を行っていき防災意識の共有を図りたい。 ・中学校の職場体験を通じて障害福祉について理解を深めるきっかけを作ってもらったための取り組みを検討中。	
	・体的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の依頼利用件数、体的利用の事例） ・医療的処置の必要な方や行動障害のある方でも、安心して利用できる体制を整えている。（毎月1名程度の相談・利用がある状況です）	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員配置状況など） ・土日も規定の人員配置を満たした職員数で支援を実施。 平日の日勤帯は、外部からの入電や来訪者対応すべく、規定以上の人員配置で対応している。また、レクリエーション活動にも支援をきかさないう状況を作り出している。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	（開催頻度及び方法、参加者（人数）、会議の内容など） ・会議開催の時期及び内容については検討中。 ・地域の自治会や公立学校に打診中。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	（往來ごとの時期及び方法、見学内容など） ・防犯上及び個人情報保護確保防止の観点より院内見学の実施は予定していませんが、次年度の実施に向けて準備中。 ・地域連携推進会議構成員の選出については地域の自治会長に打診中。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 (実施・参加した事業所及び参加人数など)	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	・虐待防止講習会に参加した管理者が、講習内容を鑑み、各職員に講習内容をリリースした。 ・日本防火防災協会の講習を3名が受講し、防火管理者と防災管理者の資格を取得。利用者の安全確保体制を構築した。 (受け入れ人数など) 実習生 0人、ボランティア 0人(過去に1名受け入れ実績あり) その他 () 0人	
8 短期入所の併設について	・災害時・緊急時の備えがなされているか。 地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(災害、緊急時対応などへの対応方法、避難の要請状況など) ・年2回の外部委託業者による消防設備点検実施。 ・防火防災対応マニュアルの作成 ・非常持ち出し用品の準備 ・年2回の防災訓練実施 ・看護師常駐にて身体状況の把握 (前年度の受入人数など) ・1名～2名/月の受け入れをして、そのうちリピーターが数名できてきているので、今後とも定着化を図る予定。	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) ・基幹センター等からの問い合わせの際、空き状況もアナウンスし、いつでも受け入れできる体制をとっている	
10 その他	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。 ・事業所独自の取り組みの有無	(具体的な連携状況など) ・若葉の里 DOTWORK サブカルビジネスセンター 利用者の特性を共有することで、支援方法の方向性の打合せを行う。必要に応じて計画相談員との連携を図る。 (その他、独自の工夫などがある場合は記入) 施設内のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・館内のバリアフリー化 ・車椅子同士がすれ違える幅を持った廊下 ・車いす対応のトイレと浴室 ・浴室乾燥機設置 ・全館全室の窓にシャッター設置にて防犯対策 ・玄関二重ロック	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 令和6年 6月 28日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	グループホームはらから		日中	
	指定日	平成30年3月1日		世話人	生活支援員
	所在地	千葉市若葉区大宮町3421-1		18人	19人
	定員数 (共同生活援助)	36人		(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (短期入所)	2人		12.9人	18.6人
	共同生活住居数	4戸		看護師の配置	■有 (2人) □無
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】		夜間	
	住居名：グループホームはらから1番館	10名		世話人 (夜間)	世話人 (夜間)
	住居名：グループホームはらから2番館	8名		人	6
	住居名：グループホームはらから3番館	9名		(常勤換算後)	(常勤換算後)
2 利用者状況 (令和6年6月28日 現在)	住居名：グループホームはらから4番館	9名		人	6
	住居名：	名		看護師の配置	□有 (人) ■無
	障害支援区分	人数		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	非該当	人		身体	総数： 人
	区分1	人		主に日中GHで過ごす人数： 人	
	区分2	人		知的	総数： 34
	区分3	人		主に日中GHで過ごす人数： 人	
	区分4	1人		精神	総数： 1
	区分5	9人		主に日中GHで過ごす人数： 人	
	区分6	25人		難病等	総数： 1
合計	35人		主に日中GHで過ごす人数： 人		
年齢	人数		障害特性		
～20代	人		医療的ケアが必要な者		
30代	2人		強度行動障害がある者		
40代	13人				
50代	16人				
60代～	4人				

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	評価の観点 ・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ・7割くらいの方が自室でテレビを見ながら、それぞれ過ごされています。リビングでは、共有のテレビを見たり、他の方とパズルをして過ごされることが多いです。 ・見守り支援 ・入浴、排せつ、食事介助 ・手作りの食事提供 ・整容介助（髭剃り、爪切り、耳かき、歯磨き） ・通院の付き添い ・週末の散歩や余暇の提供 ・レクの提供（誕生日会や季節行事の実施。みなさんに参加いただいています。）	
4 地域に開かれた運営について	評価の観点 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方) ・生活介護事業所「デイサポート和音」を利用（35名） ・休日、散歩や余暇の提供	
	評価の観点 ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など) ・週末、1時間程度の散歩を提供(午前中に実施し、皆さんに参加いただいています。) ・利用者の希望による外出の実施	
	評価の観点 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ・希望による面会や帰宅の実施 ・地域の夏祭りに参加（コロナ前） ・散歩時に地域住民へのあいさつなど交流を図っている	
	評価の観点 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ・短期入所を通して入居体験：1名	
	評価の観点 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) ・土日とも平日と同程度の職員数を配置し、サービスを提供 ・レク提供時には職員を増員している	
	評価の観点 ・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	(開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) ・地域連携推進会議の構成員や開催方法について、法人内で検討中。地区会を通して、協力を依頼する予定。	
	評価の観点 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・法人内で検討中だが、会議開催とともに見学会も兼ねていく予定。見学希望があれば随時対応していく予定。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・全職員に強度行動障害基礎研修の受講を実施 ・インターネットを活用した研修を取り入れ、個々に知識の向上を図っている （受け入れ人数など） 実習生 人、ボランティア 人 その他（ ） 人 現在受け入れは行っていません。 （災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・避難訓練の実施・AEDや発電機の設置・井戸の設置	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・家庭の状況を鑑みて、月に2.3名の受け入れを実施	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（受入体制、受入の対応など） ・現在ご利用頂いている短期入所の方を優先的に受け入れを行っている。 （具体的な連携状況など） ・相談支援事業所ここからグループホーム入居者の多くを担当して頂いているので、支援状況や通院について情報共有を図っている	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・4番館階段に手すりを設置 ・利用者の状況に合わせた特別食の提供	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 令和 6 年 6 月 19 日】

【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業所名	グループホーム ビートルケア柏井			
	指定日	令和 3 年 12 月 1 日			
	所在地	千葉県花見川区柏井4-30-5			
	定員数 (共同生活援助)	8人			
	定員数 (短期入所)	1人			
	共同生活住居数	1戸			
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			
	住居名：グループホーム ビートルケア柏井	8 名			
	住居名：	名			
	住居名：	名			
2 利用者状況 (令和 6 年 6 月 14 日現在)	住居名：	名			
	住居名：	名			
	障害支援区分	人数			
	非該当	1 人			
	区分 1	0 人			
	区分 2	1 人			
	区分 3	1 人			
	区分 4	5 人			
	区分 5	0 人			
	区分 6	0 人			
	合計	8 人			
	年齢	人数			
	～20代	0 人			
	30代	0 人			
	40代	3 人			
50代	3 人				
60代～	2 人				
人員配置		日中			
		世話人	3 人	生活支援員	2 人
		(常勤換算後)	2.9人	(常勤換算後)	1.2人
		看護師の配置	□有 (人) □無		
		夜間			
		世話人 (夜間)	5 人	世話人 (夜間)	人
		(常勤換算後)	1.4人	(常勤換算後)	人
		看護師の配置	□有 (人) □無		
		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)			
		身体	総 数： 0 人 主に日中GHで過ごす人数： 0 人		
知的	総 数： 4 人 主に日中GHで過ごす人数： 0 人				
精神	総 数： 4 人 主に日中GHで過ごす人数： 2 人				
難病等	総 数： 0 人 主に日中GHで過ごす人数： 0 人				
その他		障害特性		人数	
		医療的ケアが必要な者		0 人	
		強度行動障害がある者		0 人	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主どのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・施設周辺の地域清掃、ラジオ体操 ・買い物支援、通院同行 平日の日中は通所の事業所を利用される方が多いです。ホームにしている時は、用事がない限り、居室にて過ごされる方が多いです。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） ・就労支援B型作業所 ・TODAY荻松町（4名/8名中）、ペーカリーウィズ（1名/8名中） - リハスワーク（1名/8名中） 休日は居室で過ごされる方が多いですが、レク活動等の際は一緒に取り組んでもらっています。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） ・施設周辺の地域清掃や散策 ・定期的なクッキング等の余暇活動	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） ・地域清掃や散策時には地域の方への積極的な挨拶	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・他自治体からの転居に伴う体験者受け入れ	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・土日の通所作業所が休みの日は平日よりも職員数を増やし支援	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	（開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など） ・来年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	（住居ごとの時期及び方法、見学内容など） ・来年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・定期的な個別支援計画書の見直し （受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ） 0人 （災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・定期的な避難訓練 ・非常食等の備蓄	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・月に2名程度	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（受入体制、受入の対応など） ・短期利用の多い週末や大型連休時には職員数を増やし緊急時の対応ができるように心がけている （具体的な連携状況など） ・入居利用者様の相談支援員との定期的な情報共有を実施	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・スムーズな下膳ができるよう滑り止め付きのトレイを使用 ・甘味月を作りゼリーやプリン等のデザートを提供	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか	地域のニーズに応えられるよう、緊急短期入所の受け入れに力を入れました。	

報告・評価シート

【報告日 2024年 6 月 19 日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業所名	グループホーム ピートルケア鎌取	日中							
	指定日	2023年 2 月 1 日	世話人	2人	生活支援員					
	所在地	千葉市緑区平山町2019-1	(常勤換算後)		(常勤換算後)					
	定員数 (共同生活援助)	20人								
	定員数 (短期入所)	2人								
	共同生活住居数	2戸	看護師の配置	☐ 有 (人) ☒ 無						
	【住居の内訳】		夜間							
	住居名：ピートルケア鎌取1階		世話人 (夜間)	世話人 (夜間)						
	住居名：ピートルケア鎌取2階		(常勤換算後)	(常勤換算後)						
	住居名：									
2 利用者状況 (令和6年6月14日現在)	住居名：		34人		22人					
	住居名：									
	障害支援区分		人数		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)					
	非該当	0人	身体	総数：	11人					
	区分1	0人		主に日中GHで過ごす人数：	7人					
	区分2	0人	知的	総数：	4人					
	区分3	2人		主に日中GHで過ごす人数：	1人					
	区分4	7人	精神	総数：	7人					
	区分5	3人		主に日中GHで過ごす人数：	4人					
	区分6	7人	難病等	総数：	1人					
	合計	19人		主に日中GHで過ごす人数：	1人					
	年齢	人数	障害特性		人数					
	～20代	2人	医療的ケアが必要な者		0人					
	30代	1人	強度行動障害がある者		0人					
	40代	3人								
50代	8人									
60代～	5人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主になどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ○見守り支援、排泄介助、入浴介助、金銭管理、通院同行、行政手続き同行、買物同行（ネットショッピングも）、困りごと相談、障害サービスの手続き（書類）、談話 平日の日中は通所の事業所を利用される方が多いです。ホームにしている時は、用事がない限り、居室にて過ごされる方が多いです。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	(利用人数(19人中17人)、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方) ○就労B (Today若松、都町、ワークステーションリベルタス、エール) ○就労A (スマートリンク) ○生活介護 (若葉泉の里野呂・大宮) 休日も、自由時間においては居室で過ごされる方が多いです。	
	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など) ○パン屋に出かける (毎週水曜日)	
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	(実施内容) ○家族に対して利用状況報告 (月1回程度) ○散策時、住民への声掛け実施。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	(月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ○ショートステイ (10日/月程度) 受入れ。 ○体験利用は空室時は随時対応している。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況など) ○曜日に関わらず、常時支援体制を整えている。欠員時は、バックアップ施設から人員の補充が見込める。	
	・地域連携推進会議の開催状況 (又はその予定) は。	(開催時期及び方法、構成員(人数)、会議の内容など) ・来年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況 (又はその予定) は。	(住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・来年度の実施に向けて、現在本社担当部署や職員、また地域の関係者への連絡や会議内容を検討しております。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ○月1回程度、本社研修にて学ぶ機会がある。 ○事業所内にて職員間での研修を行う	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ）人	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ○定期的な防災訓練 ○災害時に備えて、水、食料など3日分備蓄している。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ○平均月1名程度受け入れている（10日程度/月）	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ○他事業者で感染症が広がったため、受け入れをお断りされた利用者を過去2名程、受け入れたことがある。	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ○月1回以上は電話にて、利用状況報告やサードビス見直しの相談などを行っている。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ○週1回はネットショッピングによる買物支援をしている。利用者の選択を促している。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2024年 6月 24 日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】		日中	
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉園生町		世話人	生活支援員
	指定日	令和 3年 4月 1日		21人	7人
	所在地	千葉市稲毛区園生町1279-1		(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (共同生活援助)	20人		7.25人	4.82人
	定員数 (短期入所)	2人		看護士の配置	□有 (人) ■無
	共同生活住居数	2戸		夜間	
	【住居の内訳】		世話人 (夜間)		生活支援員 (夜間)
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町1F	10名		15人	1人
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉園生町2F	10名		(常勤換算後)	(常勤換算後)
	住居名：短期入所 千葉園生町1F	1名		2.37人	0.04人
2 利用者状況 (令和 6年 6月 20日 現在)	住居名：短期入所 千葉園生町2F	1名		看護士の配置	□有 (人) ■無
	住居名：	名		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	障害支援区分	人数		身体	総 数： 7人
	非該当	0人		主に日中GHで過ごす人数：	5人
	区分 1	0人		知的	総 数： 5人
	区分 2	0人		主に日中GHで過ごす人数：	0人
	区分 3	5人		精神	総 数： 7人
	区分 4	5人		主に日中GHで過ごす人数：	7人
	区分 5	7人		難病等	総 数： 0人
	区分 6	1人		主に日中GHで過ごす人数：	0人
	合計	18人		障害特性	人数
	年齢	人数		医療的ケアが必要な者	0人
	～20代	2人		強度行動障害がある者	0人
	30代	0人			
	40代	3人			
50代	9人				
60代～	4人				

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主によいような日中サービスを提供しているか。	更衣について身体状況に合わせて支援、トイレでの排泄支援やオムツ交換等の支援。浴室は計4か所がシャワーチェアを2か所完備、入居者のタイミミングやADLに合わせて浴室を選択し自立、一部介助、全介助等の対応。 食事に関して3食の提供で食材配達業者にてメニューが決定され塩分等の過剰摂取にならないようメニュー通りに調理。食前、食後等の服薬についてはGH管理で日時、氏名に注意し配薬、事故のないよう飲み込むまで確認。Wチェック等の実施で服薬事故のないよう注意している。その他、外出支援、通院同行、職員とオセロ等の希望に合わせてられるよう配慮している。 通所利用が無い日は、居室や外出して過ごす方が多い。 ・外部の日中サービス利用人数(20名中7名)。 ・外部の日中サービスの種類 【生活介護】でいさくさく(3名)、青春道場(1名)、らいおん神明(1名)、ロータスセイジン(1名)、ふらる(1名) ・休日の過ごし方については外泊、ご家族と外出、移動支援の利用。その他として医療連携(月2回の訪問、訪問リハ(PT)、個別での訪問看護等の利用あり。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。・希望に応じて対応。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	・近隣のコンビニエンスストア等の買い物同行、郵便局や銀行等の生活に必要な場所への同行や送迎に努めており、個別での外出制限は関係者からの要請がない限りは安全が確保される前提で原則自由。趣味で釣りに外出される方もいらっしゃる。 (実施内容) ご家族や友人の訪問について制限は特別設けておらず、急遽当日の外出や来訪についても問題なく対応可能。 (月平均の体験利用者数、体験利用の事例) ・月2回程、トライアル体験入居の実施 トライアルについては原則1回の最長6泊7日だが、2回に分けたり、回数に関しては相談しニーズに合うよう努めている。 (職員の配置状況など) ・土日にしても平日と同程度の人員配置で行っており、現在の人員配置に関しては3:1で対応できている。 (開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など) 現在本社で対応について検討しており、全社で前向きに検討している。 (住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・本社で対応について検討しているが、日頃より希望があれば随時実施している。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】具体的な内容	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・定期ホーム研修を毎月実施しており、法令違反にならないよう本社から毎月の研修についてアウンスがある。職員一人でも未実施の場合はエラー表示され確実な管理ができおり年間スケジュールとして12ヶ月分の研修が確定している。・虐待防止身体拘束適正化に関する内容（委員会同時開催）・感染症対策（委員会同時開催）・避難訓練・BCPに関する研修等。ホーム職員25名～30名が実施。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合は前向きに検討していきたい。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・感染委員会の実施。年4回(2月、5月、8月、11月) ・避難訓練実施。年2回(3月、9月) その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	短期入所を2部屋(男性)完備しており、レスパイト利用や定期利用に備えている。現在短期入所の利用率は減少しているため関係先への共有を行っている。困っている方に早く反応していきたい。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) ・緊急な要請であっても対応出来るよう努めており、外部委託している食事の発注が困難な場合であってもGHで食事を購入し利用者様に不利益のないよう配慮している。	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) ・月に1度「あいさつ廻り」の電話連絡を行い、その際に支援状況の情報共有を行っている。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	・玄関前をスロープ化し、階段や浴室には手すり等を設置。 ・2階建て完全バリアフリーの新築でオープンしている。 ・新規入居時はクロス張替えや清掃後の綺麗な状態で入居可能。 ・食事については手作りで直前での調理で温かく安全に召し上がっていただける	
11 協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	・助言や要望へ対応しているか	短期入所の受け入れ可否について共有してほしい要望があったため関係先への共有を積極的行っている。	

報告・評価シート

【報告日 2024年 6月 25日】
【評価日 2024年 月 日】

項目		【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉大森町										
	指定日	令和 3年 3月 1日										
	所在地	千葉市 中央区 大森町252-1										
	定員数 (共同生活援助)	20人										
	定員数 (短期入所)	1人										
	共同生活住居数	2戸										
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】								人員配置	
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町1F			10名						世話人 (夜間)	生活支援員 (夜間)	
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉大森町2F			9名						(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	住居名：短期入所 千葉大森町			1名						16人	3人	
2 利用者状況 (令和6年6月25日 現在)	住居名：			名						(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	住居名：			名						2.24人	0.45人	
	障害支援区分			人数						看護師の配置	口有 () 人 ■無	
	非該当			人						主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	身体	総数： 8人 主に日中GHで過ごす人数： 3人
	区分1			人							知的	総数： 7人 主に日中GHで過ごす人数： 2人
	区分2			人							精神	総数： 9人 主に日中GHで過ごす人数： 5人
	区分3			3人							難病等	総数： 0人 主に日中GHで過ごす人数： 0人
	区分4			9人							障害特性	人数
	区分5			4人						その他	医療的ケアが必要な者	1人
	区分6			3人							強度行動障害がある者	0人
合計			19人						年齢		人数	
年齢			人数						～20代		3人	
～30代			1人						30代		1人	
40代			3人						40代	3人		
50代			8人						50代	8人		
60代～			4人						60代～	4人		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主どのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容) 共有スペースで過ごされる方、食事以外は居室で過ごされる方は音楽(サックス演奏)、ご自分のPCで友人とビデオ通話(手話で会話)、TV視聴等様々。GHでは通院同行、買い物同行、入浴支援、排泄支援、3食の食事提供(外部の栄養管理されたもの)、外出時の準備等ニーズに合わせてられるよう努めている。 就労継続支援B型(2名)、生活介護(5名)、デイケア(1名)、デイサービス通所介護(1名)、訪問リハ(2名)、訪問マッサージ(1名)、手話通訳の来所(1名)同一の利用者様で2か所に通っている方もいらっしゃる。	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況(又はその予定)は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況(又はその予定)は。	(充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など) コロナの影響もあって参加制約がありましたが、散歩など手ごろな外出を行っている。また可能な範囲で外出時の同行、ホーム前では花壇を設けニーズに合わせて活用していただいている。 ご家族や友人の訪問について制限は特別設けておらず、急遽当日の外出や来訪についても問題なく対応可能。定期的に来訪されるご家族もいらっしゃる、ご家族と外食されたりと様々である。 (月平均の体験利用者数、体験利用の事例) 0～1名 現在女性棟が1室空室のため希望者がいらっしゃる場合は最長6泊7日の体験利用を案内している。 (職員の配置状況など) 平日と比べ土日はGH利用者様が多いため必要に応じ人員を配置している。平日は管理者が、土日はサービス管理責任者または他社員にてシフト作成し支援に差のないよう工夫している。 (開催時期及び方法、構成員(人数)、会議の内容など) 現在本社で対応について検討しており、全社で前向きに検討している。 (住居ごとの時期及び方法、見学内容など) ・本社で対応について検討しているが、日頃より希望があれば随時実施している。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	・定期ホーム研修を毎月実施しており、法令違反にならないよう本社から毎月の研修についてアナウンスがある。職員一人でも未実施の場合はエラー表示され確実な管理ができており年間スケジュールとして12ヶ月分の研修が確定している。・虐待防止身体拘束適正化に関する内容（委員会同時開催）・感染症対策（委員会同時開催）・避難訓練・BCPに関する研修等。ホーム職員25名～30名が実施。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合は前向きに検討していきたい。	
	・災害時・緊急時の備えがなされているか。	・感染委員会の実施。年4回(2月、5月、8月、11月) ・避難訓練実施。年2回(3月、9月) その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	短期入所を1部屋(男性)完備しており、レスパイト利用や定期利用に備えている。現在短期入所の利用率は減少しているため関係先への共有を行い、困っている方々に早く反応していきたい。今年度は長期での利用実績もあり柔軟に対応していきたい。	
	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	(受入体制、受入の対応など) 対応している。 近隣系列のGHで対応困難な場合など連携し受け入れできよう努めている。	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況など) 入居者様が困っていることや日常生活、必要な支援については定期的に相談しており、ニーズに合わせて訪問看護、訪問リハ、生活介護や就労B、一般就労など繋がっている。	
10 その他	・事業所独自の取り組みの有無	(その他、独自の工夫点がある場合記入) 玄関入口から完全バリアフリーにてEV完備1階男性、2階女性ともに車いす対応可能。 食事提供は手作りで提供直前に調理している。	
11 協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	・助言や要望へ対応しているか	短期入所の受け入れ可否について共有してほしい要望があったため関係先への共有を積極的行っている。	

報告・評価シート

【報告日 2024年 6月 13日】
【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業所名	ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東								日中	
	指定日	平成 31年 1月 1日								生活支援員	世話人
	所在地	千葉市緑区あすみが丘東1-13-10								6人	19人
	定員数 (共同生活援助)	20人								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (短期入所)	2人								3.34人	6.5人
	共同生活住居数	2戸								看護士の配置	口有 (人) 口無
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】								夜間	
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東A棟	10名								生活支援員 (夜間)	世話人 (夜間)
	住居名：ソーシャルインクルーホーム千葉あすみが丘東B棟	10名								2人	17人
	住居名：短期入所A棟	1名								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	住居名：短期入所B棟	1名								0.35人	3.17人
	住居名：	名								看護士の配置	口有 (人) 口無
2 利用者状況 (令和 6年 6月 13 日 現在)	障害支援区分	人数								主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	非該当	人								総 数：	7人
	区分 1	人								主に日中GHで過ごす人数：	1人
	区分 2	人								総 数：	3人
	区分 3	7人								主に日中GHで過ごす人数：	1人
	区分 4	10人								総 数：	16人
	区分 5	人								主に日中GHで過ごす人数：	人
	区分 6	2人								総 数：	1人
	合計	19人								主に日中GHで過ごす人数：	人
	年齢	人数								障害特性	人数
	～20代	人								医療的ケアが必要な者	0人
	30代	人								強度行動障害がある者	0人
	40代	5人									
	50代	7人									
	60代～	7人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ・通院同行・買い物同行や送迎・近隣の散歩等支援 ・各利用者に合わせたレクリエーションの実施（いちご狩り等） ・近隣のイベントへの参加 ・入浴（個別浴2箇所機械浴2か所の計4箇所）、排泄（トイレ8か所）、更衣、洗濯の支援（洗濯機7台乾燥機4台）食事（3食外部食材配送会社より栄養管理されたものを提供）、毎朝の通所先への外出準備等、基本的に身体状況やニーズに合わせて支援可能。 通所利用が無い日は、居室や外出して過ごす方が多い。	
4 地域に開かれた運営について	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。 ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験の利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	・生活介護（土日は基本ホーム・通所方法も各々異なる） アガベの里事業所1名、セルブガーデンハウス事業所4名、デイジー4名、下総精神医療センターデイケア2名 ・就労継続支援B型（土日休み・精神状態に合わせて通う。）からは一い2名、キャロットハウス3名、リバノス2名、ワクワーク2名 送迎サービスのない事業所はGHにて送迎対応中。 相談支援事業所様と相談しながら、必要な移動支援事業者様や訪問看護師も活用しながらホーム外での日中活動を支援している。その他でも必要に応じて送迎や外出同行を行っている。 近隣で毎年お祭りがあるため希望者を募り参加している。ご家族や友人に面会制限はないため時間のできた際にお気軽にお越しただけようしている。 （月平均の体験利用者数、体験利用の事例） 0～1名 6月現在満床であるが空室の出た場合は関係先へ共有しトライアル（最長6泊7日）が利用可能 土日は通所先がお休みのため平日よりの多く職員を配置し支援を実施。 6月現在の人員配置は3:1で対応中 （開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など） 現在本社で対応について検討しており、全社で前向きに検討している。 （住居ごとの時期及び方法、見学内容など） ・本社で対応について検討しているが、日頃より希望があれば随時実施している。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	・定期ホーム研修を毎月実施しており、法令違反にならないよう本社から毎月の研修についてアナウンスがある。職員一人でも未実施の場合はエラー表示され現実な管理ができている。年間スケジュールとして12ヶ月分の研修が確定している。・虐待防止身体拘束適正化に関する内容（委員会同時開催）・感染症対策（委員会同時開催）・避難訓練・BCPに関する研修等。ホーム職員25名～30名が実施。 直近での受け入れはないが受け入れ体制が整備され対応可能な場合は前向きに検討していきたい。	
8 短期入所の併設について	・災害時・緊急時の備えがなされているか。 地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	・感染委員会の実施。年4回(2月、5月、8月、11月) ・避難訓練実施。年2回(3月、9月) その他、水や食事の準備をBCP計画に沿って完備している。 ・1名程度/月 定期で計画相談員と連絡を取った際に、ホームの入居情報の提供を行っており、短期入所の稼働についても共有している。	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	情報を精査し現在のホームの状況(特に設備)と照らし合わせ対応可能か相談し積極的に受け入れを行っている。	
10 その他	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	利用者様に必要と思われるサービスや支援の相談や支援者が困った事・本人が抱えている問題があればその都度連絡を行い相談している。 直近では通所先や移動支援を追加し連携を図っている。 ・玄関前のスロープ、各所に手摺を設置 ・お風呂場に介助リフト ・食事提供でリクエストにて食材の硬さやほぐしを行っている ・地域のイベントに積極的に参加している	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか	短期入所の受け入れ可否について共有してほしい要望があったため関係先への共有を積極的に行っている。	

報告・評価シート

【報告日 令和6年7月4日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】																		
1 施設概要	事業所名	みなもとホーム			日中															
	指定日	令和5年3月1日			世話人															
	所在地	千葉市若葉区源町561-8			生活支援員															
	定員数 (共同生活援助)	20人			(常勤換算後)															
	定員数 (短期入所)	1人			(常勤換算後)															
	共同生活住居数	2戸			看護師の配置															
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			■有 (1人) □無															
	住居名：なつき	10名			世話人 (夜間)															
	住居名：はるひ	10名			世話人 (夜間)															
	住居名：	名			(常勤換算後)															
住居名：	名			(常勤換算後)																
住居名：	名			看護師の配置																
2 利用者状況 (令和6年7月4日現在)	障害支援区分	人数			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	非該当	人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	区分1	人			主に日中GHで過ごす人数： 20人															
	区分2	人			主に日中GHで過ごす人数： 1人															
	区分3	1人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	区分4	5人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	区分5	3人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	区分6	11人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	合計	20人			主に日中GHで過ごす人数： 人															
	年齢	人数			障害特性															
	～20代	人			医療的ケアが必要な者															
	30代	4人			強度行動障害がある者															
	40代	7人																		
	50代	5人																		
	60代～	4人																		
	<table border="1"> <tr> <td>身体</td> <td>総数：</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>総数：</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>総数：</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>難病等</td> <td>総数：</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>主に日中GHで過ごす人数：</td> <td></td> <td>人</td> </tr> </table>					身体	総数：	人	知的	総数：	20人	精神	総数：	1人	難病等	総数：	人	主に日中GHで過ごす人数：		人
	身体	総数：	人																	
	知的	総数：	20人																	
	精神	総数：	1人																	
	難病等	総数：	人																	
主に日中GHで過ごす人数：		人																		
<table border="1"> <tr> <td>障害特性</td> <td>人数</td> </tr> <tr> <td>医療的ケアが必要な者</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>強度行動障害がある者</td> <td>0人</td> </tr> </table>					障害特性	人数	医療的ケアが必要な者	0人	強度行動障害がある者	0人										
障害特性	人数																			
医療的ケアが必要な者	0人																			
強度行動障害がある者	0人																			

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・主にリビングで過ごすため、見守り支援 ・通院同行や買い物同行などの外出支援 ・休日は、希望によっては近くの公園やドライブ、季節行事（バーベキュー、クリスマス会）等を提供 （利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） ・生活介護 でい・さくさく13人 でい・まさご3人 でい・まさご武蔵館1人 地域生活支援センターふらる2人 福祉的就労1人	
4 地域に開かれた運営について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 ・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 ・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。 ・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） ・個々のニーズに沿って、近くのコンビニやスーパーまで買い物に出かける。また、移動支援を利用して外出や余暇活動を楽しんでいる利用者もいる。 （実施内容） ・半年1回程度、家族懇談会を開催。直接ご意見や要望を伺う。 ・地域の自治会の総会等に参加。餅つき大会などの地域行事にも積極的に参加している。 （月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・満室のため、体験利用は対応していない。 ・短期入所定員1名で利用者のニーズに合わせて対応している。 （職員の配置状況など） ・24時間365日、常に3人以上の職員を配置している。 ・誕生会やバーベキューなどの余暇支援プログラム時は、職員を増員して対応している。 （開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など） ・未定 ・地域の自治会、利用者の家族、千葉市手をつなぐ育成会の会員等を参加者として想定している。 （住居ごとの時期及び方法、見学内容など） ・未実施 ・見学会の開催は、来年の冬を想定している。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など） ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ・災害時・緊急時の備えがなされているか。	（実施・参加した研修名及び参加人数など）・毎月実施の支援会議または職員会議において、日々の支援のフィードバック。また、虐待防止および身体拘束の啓発研修を実施。 （受け入れ人数など） 実習生 0人、ボランティア 0人 その他（ ）人 （災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・災害時の備蓄品を倉庫に保管、定期的に防災訓練を実施。 ・緊急時の対応は、マニュアルを整備して職員に周知。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・令和5年度9名受け入れ ・主に、法人内からの緊急対応を受けている	
9 他事業所との連携	・緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・日中活動の事業所や相談専門員との情報共有を密にしており、緊急時はすぐに受け入れられるように対応している。	
10 その他	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。 ・事業所独自の取り組みの有無	（具体的な連携状況など）・日中は法人内の事業所を利用している人が多いため、夜間と日中の様子を密に情報共有している。また、相談支援専門員とも連絡をとり、必要であればすぐに訪問してもらえようとしている。 （その他、独自の工夫点がある場合記入） スロープやバリアフリーなど、高齢化や障害の重度化に対応した環境を整えている。訪問診療や訪問歯科、訪問薬剤を利用して医療との連携を図り、健康維持に努めている。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・助言や要望へ対応しているか		

報告・評価シート

【報告日 2024 年 6 月 27日】
【評価日 年 月 日】

項目		【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業所名	クライスハム千葉高根町事業所								日中	
	指定日	2023年 4月 1日								世話人	生活支援員
	所在地	千葉市若葉区高根町350-1								0人	4人
	定員数 (共同生活援助)	20人								(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (短期入所)	8人								0人	4.0人
	共同生活住居数	2戸								看護師の配置	□有 (人) ■無
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】						夜間		
	住居名：クライスハム高根町Ⅰ		10名						世話人 (夜間)	世話人 (夜間)	
	住居名：クライスハム高根町Ⅱ		10名						2人	4人	
	住居名：短期入所クライスハム高根町Ⅰ		2名						(常勤換算後)	(常勤換算後)	
2 利用者状況 (令和6年6月16日現在)	住居名：短期入所クライスハム高根町Ⅱ		6名						2.0人	4.0人	
	住居名：		名						看護師の配置	□有 (人) ■無	
	障害支援区分		人数						主な障害者種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)		
	非該当		1人						総数：	6人	
	区分1		0人						主に日中GHで過ごす人数：	3人	
	区分2		0人						総数：	0人	
	区分3		1人						主に日中GHで過ごす人数：	0人	
	区分4		4人						総数：	5人	
	区分5		3人						主に日中GHで過ごす人数：	3人	
	区分6		1人						総数：	0人	
	合計		10人						主に日中GHで過ごす人数：	0人	
	年齢		人数						障害特性	人数	
	～20代		1人						医療的ケアが必要な者	0人	
	30代		1人						強度行動障害がある者	0人	
	40代		2人								
50代		2人									
60代～		4人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	（日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの内容） ※主に居室で過ごすか、共有スペースで過ごすかについても記載ください。 ・入浴介助、買い物代行、トイレ介助、通院同行、買い物同行 ・ご自分のリズムでの生活の希望があり、居室で読書、ゲーム、テレビ鑑賞をなさってお過ごしです。	
4 地域に開かれた運営について	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について。	（利用人数（〇〇人中〇〇人等）、主な日中活動サービスの種類、利用先、休日の日中の過ごし方） ・利用人数（10人中4人） ・生活介護（アルパ、泉の里、らいおん神明、眉秀苑） ・休日は、手話サークル参加、リビングで交流、介護タクシーで買い物	
	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	（充実した地域生活を送るために実施している、外出や余暇活動など） ・訪問理美容を定期的にヘアカットできる環境を提供。 ・買い物を楽しめるようにイオンの移動販売車の誘致の検討。	
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	（実施内容） ・家族はカンファレンスの時やお小遣いを預けに来所していただきます。	
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。	（月平均の体験利用者数、体験利用の事例） ・入居の前には体験利用や短期入所をしていただいています。	
	・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	（職員の配置状況など） ・平日同様に確保できています。	
	・地域連携推進会議の開催状況（又はその予定）は。	（開催時期及び方法、構成員（人数）、会議の内容など） ・実施はしておりませんが、準備中です。 ・開催日程：調整中。 ・開催構成員：若葉区役所の方、近隣の商店（タイヤ販売店）の方、来所可能なご家族の方、ドットライフの担当計画相談員を検討中です。	
	・地域連携推進会議の構成員に対する見学機会の提供状況（又はその予定）は。	（住居ごとの時期及び方法、見学内容など） ・ドットライフの担当相談員は毎月モニタリングや入居希望者の見学同行で来てくださいます。 ・近隣の商店や住民の見学はほとんどないので、今後お誘いのご案内をしていきたいです。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】	評価・要望・助言（協議会記入欄）
5 支援体制の確保・質の確保について	・ 支援の質の確保・向上に努めているか。（研修の実施など）	（実施・参加した研修名及び参加人数など） ・ 職員全員 6 名が毎月定期研修を実施。 ・ 千葉社協のBCPの研修に 1 名参加。 ・ 手話講習会に 1 名、7 月 2 回参加予定。 ・ 介護初任者研修に 1 名参加。	
	・ 実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	（受け入れ人数など） 実習生 0 人、ボランティア 0 人 その他（ ） 人 ・ 案内はホームの看板に掲示をしています。	
	・ 災害時・緊急時の備えがなされているか。	（災害、急な体調不良などへの対応方法、訓練の実施状況など） ・ 水と食料の備蓄をしています。緊急時マニュアル、感染症マニュアルを事務所に保管しています。	
8 短期入所の併設について	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	（前年度の受入人数など） ・ 8 名	
	・ 緊急支援等の受け入れに対応しているか。	（受入体制、受入の対応など） ・ 西部児童相談所からの緊急受け入れで現在 1 名在所中です。	
9 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況など） ・ 利用者に変化があった時は早めに連絡をして連携を取っています。	
10 その他	・ 事業所独自の取り組みの有無	（その他、独自の工夫がある場合記入） ※設備のバリアフリー化、食事の提供内容の工夫など ・ 聴覚障害の利用者が 2 名在所しているので手話の習得に努めています。	
11 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・ 助言や要望へ対応しているか		

